

# 縮退する地方都市問題を解決する実証実験(令和元年度補正) (一般社団法人益田サイバースマートシティ創造協議会(MCSCC))

## ■都市課題

高齢者見守り対応の増加  
乳幼児見守り負担増加  
増大する行政負担

## ■解決方策

ハイブリッド型IoTネットワークを利用したスマートシティサービスの実現  
病院や関連団体との連携によるサービス化

## ■KPI

高齢者見守りの省力化と効率化  
乳幼児見守りの高度化効率化  
スマートシティサービス化による効率化

## ■実証実験の概要・目的

病院等との連携とハイブリッド型IoTネットワークを使ったスマートシティサービスの有効性検証

## ■実証実験の内容

- ・ハイブリッド型IoTネットワークを用いた、LPWA発信機による高齢者捜索サービスの検証
- ・病院と連携した体動センサーによる乳幼児見守りサービスの検証
- ・同様の課題を持つ地域への横展開可能な一般化を行う

地域の課題	高齢者見守り件数増加	乳幼児見守りの負担増
実験の対象者	高齢者	保育士 医療関係者
実証実験の内容	LPWA発信機による捜索サービス検証	体動センサーによる乳幼児見守りとIoTインフラ経由での医療関係者のモニタリング
ハイブリッド型IoTネットワークの検証(両実験で利用)		

## ■実証実験で得られた成果・知見

- ・目標達成の観点
  - 高齢者見守りにハイブリッド型IoTネットワークを用いた微弱LPWA発信機による捜索支援により低コストで1時間以内の捜索の可能性が確認できた。
  - 乳幼児見守りに体動センサーを使用するメリットは物理的な作業負担軽減と保育士への心理的軽重を軽減できる効果が認識できた。
- ・持続可能性の観点
  - 高齢者見守りへの微弱発信機の利用は低コストの運用可能
  - 乳幼児見守りは医療機関との情報共有化まで含んだビジネス化を低コストでの実現可能性が確認できた。
- ・役割、体制の観点
  - ハイブリッド型IoTネットワークを状況に応じて組み合わせて利活用
  - 高齢者見守り支援組織との連携が重要
- ・取得したデータ利活用の観点
  - 乳幼児の見守り事例を医療系学会などで発表し知見の共有化
  - 既存介護事業との協調によりコスト削減し保育所での運用コストを削減

## ■今後の予定

- ・乳幼児見守りは病院連携によるサービス実用化を目指し検討を深める
- ・高齢者見守りはLPWA発信機方式のサービス事業化を目指し検討を深める